

全国バイオ関係者会議 2013 地方部会 in 沖縄 ー 沖縄産学官イノベーションフォーラムー

全国バイオ関係者会議では全国で先進的な取り組みを行っているバイオクラスター間での交流、連携を深めることにより、各地域が持つ研究成果やビジネスシーズの産業化、共同研究の促進を図り、ライフサイエンス関連産業のさらなる振興と集積、バイオベンチャーの創生支援を目的とする交流会を開催いたします。

2日目には、沖縄のバイオ関連の研究シーズや研究開発の現状等を発表する「沖縄産学官イノベーションフォーラム」を同時開催します。

- 開催時期：2013年3月1（金）～2日（土）
- 開催場所：沖縄科学技術大学院大学、琉球大学
- 参加：どなたでも自由に参加できます。



プログラム

3月1日	会場：沖縄科学技術大学院大学 講堂	
13:00-13:05	来賓挨拶	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部長
13:05-13:10	開会挨拶	具嶋弘(福岡バイオバレープロジェクト)
13:10-14:00	講演	「玄米による抗肥満効果のメカニズム」 益崎裕章(琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座 教授)
14:00-14:40	活動紹介	「沖縄科学技術大学院大学の紹介」 パトリック・ビンセント(沖縄科学技術大学院大学 副学長)
14:40-15:00	活動紹介	『OKINAWA J-Adviser』沖縄型上場モデルの紹介 沖縄県産業振興公社
15:00-15:50	講演	「個別化医療時代の 医薬品とゲノム解析・医療機器の開発」 (仮題) 劉 世玉 (武田薬品工業(株) 日本開発センター)
15:50-16:00		(休憩)
16:00-17:00	パネルディスカッション	「新政権に期待する地域活性化のためのバイオクラスター政策とは」 司会 坂田恒昭(大阪大学大学院基礎工学研究科 客員教授)
17:00	閉会挨拶	坂田恒昭(大阪大学大学院基礎工学研究科 客員教授)
17:10-17:40	キャンパスツアー	沖縄科学技術大学院大学ツアー(希望者)
18:30-20:00	交流会	※恩納村内のホテルにて交流会(希望者) 会費5千円 カフォーリゾートフチャクコンドホテル 沖縄県国頭郡恩納村字富着志利福地原 246-1 TEL:098-964-7000 http://www.kafuu-okinawa.jp/
3月2日	会場：琉球大学 沖縄産学官イノベーションフォーラム	
10:00-17:00		・沖縄産学官イノベーションフォーラム、 ・沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク総会及びWG報告会 ・地域ネットワーク活用した健康バイオ新商品開発推進事業合同報告会 (裏面参照)

主催：国立大学法人琉球大学、公益財団法人沖縄県産業振興公社、パイオ産業活性化支援共同体
共催：全国バイオ関係者会議 事務局(一般財団法人バイオインダストリー協会 内)
後援：内閣府沖縄総合事務局、沖縄県、学校法人沖縄科学技術大学院大学

参加申し込み：氏名、所属、連絡先をご記入の上、以下のお問い合わせ先の琉球大学の宮里宛て (daiya@lab.u-ryukyu.ac.jp) ホームページにて送付ください。

お問い合わせ：琉球大学産学官連携推進機構 宮里大八 e-mail: daiya@lab.u-ryukyu.ac.jp 電話：080-1720-3340

主催：沖縄産学官連携推進協議会、沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク
共催：沖縄県、バイオ産業活性化支援共同体

沖縄産学官イノベーションフォーラム
～グリーンイノベーションとライフイノベーションの融合に向けて～
「沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク総会及びWG報告会、
地域ネットワーク活用した健康バイオ新商品開発推進事業合同報告会」

平成25年3月2日(土) 10:00～17:00

琉球大学理系複合棟102号室

プログラム:

- 10:00 開 会 沖縄産学官イノベーションフォーラム
10:00～10:10 挨拶
琉球大学副学長・産学官連携推進機構長 山崎 秀雄
- 10:10～11:00 基調講演
「マグネシウムと塩水で発電！ 夢の新型燃料電池を開発
～無限の電力を生み出す“マグネシウムによるエネルギー循環社会”実現へ～(仮)」
東北大学未来科学技術共同研究センター 教授 小濱泰昭
- 11:00～12:00 研究シーズ発表
琉球大学
沖縄科学技術大学院大学
沖縄工業高等専門学校
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00 開 会 沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク総会及びWG報告会、
地域ネットワーク活用した健康バイオ新商品開発推進事業合同報告会
- 13:00～13:10 挨拶
沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク副会長(沖縄県商工労働部新産業振興課長) 上間 司
- 13:10～13:50 沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク総会
・沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク事務局
- 13:50～15:20 ワーキンググループ活動報告及び研究助成活動報告
・チャンプルースタディWG
・「健幸ライフ」ソーシャル・ネットワークの構築WG
・発酵飼料に関するWG
・飼料米に関するWG
- 15:20～15:30 休憩
- 15:30～16:50 地域ネットワークを活用した健康バイオ新商品開発推進事業及び
ワーキンググループ活動報告
・月桃ブランド化研究開発WG
・発酵食品WG
・沖縄伝統野菜クワンソウブランド化WG
・沖縄産珈琲ブランド推進WG
- 16:50～17:00 閉会挨拶 沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク副会長
(株式会社トロピカルテクノセンター代表取締役) 名幸穂積
- 17:00 閉 会

企業の新商品、新サービス、新規事業の創出には、その原動力としてイノベーションに立脚した新しい技術等の活用が有効である。そのため、大学など高等研究機関や公設試験研究機関が生み出す研究成果やシーズ、更には知的財産の産業界への橋渡しは、大変重要な活動であり、それは産業振興の方向性を決定付ける重責も担っている。

沖縄県内に目を向けると、2030年の沖縄のあるべき姿「沖縄21世紀ビジョン」を掲げ、県内の自立的な経済成長を実現し、県民生活の更なる向上を実現するため、沖縄のポテンシャルを発揮できる産業の戦略的展望と新事業の創出を図ることとしている。そして、企業の研究開発や新商品開発、新サービスの開発を支援する為に、県内では国の関係機関、沖縄県、県の関連機関・団体、企業、大学等教育研究機関、公設試験研究機関等の産学官が密に連携し、実際に成果も生み出しつつある。

これまで沖縄産学官イノベーションフォーラムは、大学や高専、公設試等の研究シーズ発表、産学官連携による共同研究の成果発表を中心に行われてきた。今後は、沖縄の研究シーズのみならず、県外のシーズと沖縄のシーズとの融合、これからの沖縄の強みとなる産業分野の健康や環境などの分野を超えた融合、業種を超えた企業間連携が求められている。

本年度は、全国で先進的な取組みを行っているバイオクラスター間の交流・連携、各地域が持つ研究成果やビジネスシーズの産業化を目的とする「全国バイオ関係者会議2013地方部会 in沖縄」と、沖縄において産学官の協力機関と施策連携を図りながら地域の協働の場を構築し、沖縄地域におけるイノベーション・エコシステムの確立を目指す活動に取り組む「沖縄健康バイオ産業推進ネットワーク」の報告会と連動してフォーラムを開催する。